

# 24.9.12 ニジマス捕まえた

宮 福島小児童ら30人挑戦

申 間

申間市淡水漁業協同組合（河野日出男組合長）は9日、同市桂橋そばの福島川親水公園で、ニジマス釣り大会を開いた。NPOくしまりアテニスマスに所属する

福島小児童ら約30人が参加。なかなか釣れないというアテニスマスに昇舞われたため、途中からつかみ捕りに変更したが、魚を捕まえる楽しさを満

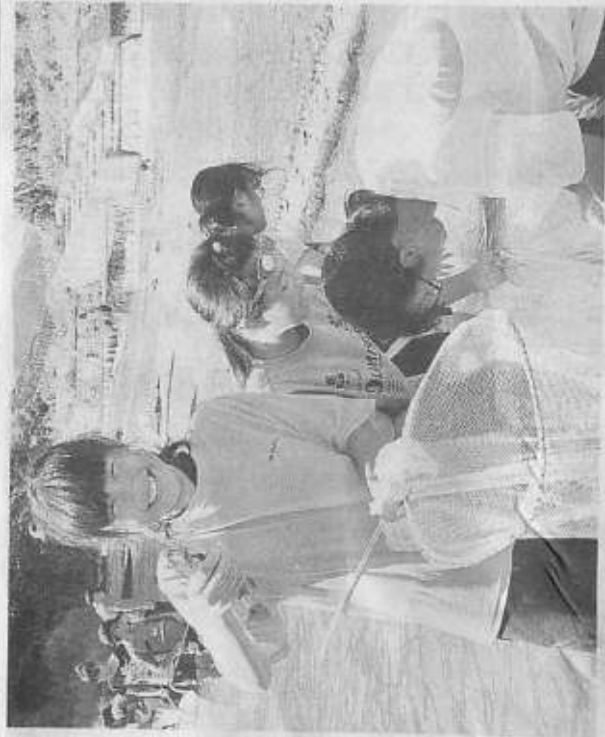
喫した。

ヤマメ稚魚の放流などに取り組み、同漁協が川に親しんでもらおうと初めて開催。開会式で河野組委員長は「川にはナギやカニ、エビなどいろいろな生物がすんでいる。ルアーを守って山遊びの楽しさを知ってほしい」と呼び掛けた。

同漁協は親水公園の一部をせき止め、ニジマス約100匹を放流。子どもたちは組合員が手作りした竹さおを持

ち、釣りに挑んだ。しかし、ニジマスは空腹でないのか、餌に食いつかず、途中からつかみ捕りに。素早い動きに苦勞しながら手づかみし、最後は網ですくって捕まえた。

閉会後はニジマスの塩焼きを堪能。同校5年の野辺ひらりさん(11)は「捕まえたと思ったら滑って逃げて難しかったけど楽しめた。魚がいる川を大事にしないとけないと思う」と話していた。



ニジマスを素手や網で捕まえた子どもたち